

建碑に寄せられた意見

「心の会の碑」（仮称）の建立賛同者は、2016年1月12日現在で1159人に達しており、意見も寄せられている。その中から公開の了承を得ている分を紹介する。（順不同）

味村隆史・1961年北大文卒

再び、先輩（宮澤弘幸）の悲劇を繰り返さぬためにも、必要と思いません。

姉崎洋一・北大特任教授

大学に「碑」建立スペースを無償で提供させる（その意味で大学に謝罪させることになる）。このようなことが二度と起きない（起こさせない）ような姿勢を示さざるべきだと思います。

和 孝雄・1961年北大農卒、北大名誉教授

民主主義、人権、平和を尊重し、守るため、そして北海道大学のためにも、是非「心の会の碑」の建立、それも外国人教師官舎跡への建立を強く希望します。

泉 定明・1967年北大経卒

「心の会」は、建学以来の外国人教師との自由で独立した人格として交わり、良きものを吸収するという精神のあらわれであり、北大で過ごした青春“を持つものの誇りであり、継続してゆくべきものでしょう。それが、このことを理解できない狭い視野で政策を推し進める者により、無残にもつぶされたのが「宮澤・レーン事件」です。この「良き建学の精神」が潰されたことを、後世の学校関係者にも伝えていくために「心の会の

碑」の建立を求めます。

伊藤セツ・北大経院了、昭和女子大名誉教授

私もレーン先生に英会話をお習いした一人です。それなのに宮澤さんのことも何も知らずに生きてきたことを想い、今できることをしたいと思います。

「真相を広める会」の活動に敬意を表し、「心の会の碑」建立に賛同します。

小野有五・北大名誉教授、北星学園大学教授

つまらない、あるいはもう撤去すべき石碑の多い北大キャンパスに、ぜひとも建てるべき碑であると思います。よろしくお願ひいたします。

諸富 隆・北大名誉教授

素晴らしい企画です。心から賛同致します。「心の会の碑」の建立は、自由の精神を大切にす北海道大学の歴史の豊かさを示すものになると思います。

神沼公三郎・北大名誉教授

宮澤・レーン・スパイ冤罪事件、イールズ闘争事件、アイヌ遺骨問題、ここ数年の教職員賃金引下げ、非正規雇用職員の労働条件を低位にとどめている事態、北大教職員組合に対するたび重なる不当労働行為など、どれをとっても北大のブラック・ユニバーシティ（BU）性は明らかである。そんな北大がBUの汚名を全面的にそそぐために、まず宮澤・レーン・スパイ冤罪事件について、故・宮澤弘幸氏の名誉回復を行い、「心の会の碑」

の建立に謙虚に、かつ前向きに対応する必要がある。

酒井誠一郎・1959年北大農卒、元北海道新聞記者

戦後70年。「平和」が怪しくなっています。この企画の実現に、本当に微力ながら応援させていただきます。

佐藤太勝・弁護士

私は昭和38年に北大教養でレーン先生に英語、太黒マチルド先生にフランス語の会話を授業を受けた者です。レーン先生の最後の授業でした。レーン先生は何も語る事がなく、私は上田誠吉弁護士著作ではじめて宮澤事件のことを知った次第です。「碑」建立については大賛成です。最近の状況をふまえるならば、北大当局は土地無償提供はもちろんのこと、率先して宮澤事件の真相をひろめていくべきものと思います。

西村 清・1963年北大経卒

安倍政権のもとで「戦争する国」への動きは、多面的に進められています。北大で学んだ者として、二度と宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」を引き起こさせないためにも、大学当局に猛省して貰い「心の会の碑」を建立することは重要だと思っています。

羽部朝男・北大理学研究院教授

北大にとって大切な問題だと思っています。多くの学生にこの事実を知ってほしいと思います。語り継がなければいけない問題だと思っています。

前田次郎・1968年北大経卒

当局の弾圧にもめげず、国際的な友情と信頼を貰った宮澤さんたちの行為こそ真の「積極的平和主義」と言えるでしょう。このような蛮行を繰り返させず、事件を語り継いでいくシンボルとして、「碑」の建立を実現させたいと思います。

松崎道幸・1975年北大医卒、道北勤医協旭川北医院院長

思想の自由をおかしてはならないという決意の象徴として北大に碑を建てる事が、未来を確かなものにすると考えます。

梁田政方・1950年北大法中退、元日本共産党中央委員

心から賛同します。私は北大がイールズ闘争で大学の自治と学問の自由を守ることに一つの大きな役割を果たし得たことを誇りに思っています。その北大に「心の会の碑」がつくられることは、とても嬉しいことです。実現にむけてともに努力しましょう。

吉田栄一・1971年北大農卒、私立高校講師

宮澤さん、レーンさんのことを知らずに卒業しました。「心の会」には、本当の国際交流があったと思います。クラーク像とともに、多くの人が訪れるところになってほしいと思います。

吉田徹也・北大名誉教授

現在の状況を考えると、極めて重要な意義深い企てだと、心から賛同致します。

石井明典・1961年北大経卒、元銀行員

「碑」が良いかどうか判りませんが、建立の経緯 e t c を記してください。大学としての責任も記されていると、なお良いと思います。北大関係者が今後とも戒めとして心に刻むことのできる碑をお願い致します。時代はそこまで逆もどりしています。

居城舜子・北大経院了、元常葉学園大学教員

よろしく願います。大学院在学中に太黒マチルド先生のお宅にうかがって仏語を習っておりました。戦中のことを少しお話しされていた事を覚えております。大変だっただろうと思うとその時思ったのでした。でも詳しくはお話になりませんでした。当然ですが、でも当時の事がよみがえってきます。

岩崎俊夫・1979年北大経院了、立教大学経済学部教授

二度とこのような冤罪が起こることのないよう、「碑」を建立する意義は大きいと思います。

近 昭夫・1962年北大経卒、静岡大学、九州大学名誉教授

大賛成です。我らが愛する北大がかつてあったことを今後にも忘れないように記憶に残すためにも、また北大は過去の過ちを率直に認め、将来にわたって同じ過ちをおかさないことを明言するほどに、寛大な大学であることを公に示すためにも、大学当局が率先して事に当たってほしいと思います。北大の卒業生皆が、そのことを熱望していると思います。

斉藤修治・1960年北大経卒

「建立地の無償提供」に踏み切れない学校当局は、文科省を意識しているからでしょう。民主主義教育を破壊しつつある文科省に対し、教育を国家から取り戻す運動の一環としても、この運動を推進することに賛同致します。

佐々木隆生・北大名誉教授、北星学園大学教授

フオスコ・マライーニさんの関係もあって、以前より関心を持ってまいりました。碑の建立ができることを心よりお祈りしています。

佐藤市雄・1967年北大経卒、元会社員

宮澤さんの冤罪を完全に晴らすことと、レーン先生初め外国人教師の方々の示された理想を多くの人に広めるために賛同します。

田部 徹・1967年北大経卒

国際性と永遠平和の誓いを表現する碑名を期待します。建立碑の募集は口数毎で行った方がよいと思います。

田中章義・1957年北大経卒、東京経済大学名誉教授

「心の会」に集っていた外国人教師と学生たちは、クラーク、内村、新渡戸らの国際的人道主義の伝統が、困難な戦時下でも受け継がれていたことを身を持って示してくれました。この北大の伝統を新しい学生たちへ伝えるために、記念碑は大変有効だと思います。

田村一郎・1962年北大哲院了、鳴門教育大学名誉教授

皆さんの長い間のご苦勞が稔り、宮澤弘幸さんの冤罪事件についても一定の方向が出だしたことを歓迎しています。宮澤さんやレーン先生の心の支えになっていた「心の会」の碑を、元外国人官舎の在りました北大構内に建てることにはもちろん大賛成です。具体的な方向が出ましたら、応分の協力をさせて頂きます。大変でしょうが引き続きのご努力をお願いします。

成島辰巳・1973年北大経修了、元大阪学院大学

この運動が平和を愛する人々の心に広く届くことを願っています。

山口博教・1974年北大経卒、北星学園大学教授

北大の歴史で同じことを二度と繰り返さないよう、記憶にとどめるため、必要です。

鈴木秀一・北大名誉教授

「碑」の建立、賛成です。また文書館年報に宮澤・レーン事件について、論文の形で掲載されることを望みます。山本玉樹さんあたりに是非御執筆願いたいと思います。

藤田正一・元北大副学長

本来ならば、北大自身が自らこの碑を建立し、「二度とこのようなことを繰り返させません」と誓うべきだと思います。あくまでも北大が協力したという形にすべきです。上田弁護士のお息子さん副学長のうちにぜひ実現しましょう。

井上勝生・元北大教員

ご尽力に感謝。クラークとか新渡戸氏とか前面にたてる必要があるのでしょうか。アジアとの向きあい方で厳しくとらえる見方があります。宮澤・レーン事件の背景としても趣旨文に皆さんが共鳴されるものが要請されると思います。

石山聖晴・国立釧路工業高等専門学校教授

北大在学中、レーン先生があのようなひどい経験をされたことは全く知りませんでした。ビデオは幌向地区の卒業生の間で大きな反響を呼んでいます。是非「心の会の碑」の建立を実現したいと思います。

武田晃二・北大教育院卒、岩手大学名誉教授

宮澤弘幸さんは東京に生まれ恵まれた家庭で、読書、器械体操、水泳、柔道などに打ち込み、旅行が好きな快活な少年として成長しました。また、父の勧めで大学は工学部に進むが、その後は法学部に入って将来は外務大臣になりたい、という夢を抱いていたとのことです。北大時代はさぞかし充実した意義ある生活をしていたことでしょう。その生活と夢を無惨にも打ち砕き衰弱死させた元凶こそ当時の政治であり軍機保護法だったので

す。

私は井上勝生氏が書かれた文章を通して、戦後、宮澤さんが「日本の教育制度を十分に修正し、以て日本の民主主義化に資し度い」という意向を持っておられたことを知り、教育学を専攻してきた者として深い感動を覚えました。また、高校時代、英語の時間にはポーリン・レーン夫人から「通りで、トンネマーパ」という看板を見たけどどんな意味？」と冗談を話されていたことをはつきりと覚えています。

宮澤・レーン事件を知って私の人生をあらためて奮い立たせて

いただきました。

横倉友子・北大卒

現憲法に明示されている精神的自由がない時代、宮澤弘幸さんは卑劣な権力による攻撃に負けることなく闘ったこと。戦後生まれの私は、宮澤さんの良心を受け継ぐことの大切さを学びなおしています。

藤原真由美・弁護士

秋間美江子さんがお元気なうちに是非「心の会の碑」が建立されますよう、北大の更なる御協力をいただきたいと願います。

橋本左内・牧師

1959・4・1〜61・3・31、札幌北光教会の伝道師であつた私は、教員であるポーリン・レーンさんに親しく導いて頂きました。またハロルドさんとお交わりも頂くことができました。

秘密保護法を葬り去るためにも「碑」を市民に広く訴えることができる所に建立することを希望します。

西村満津子・元毎日新聞北海道発行所労組書記

いつの世も、安心して学べるように。無限の可能性を秘める若者、その未来を奪う権利は誰にもありません。二度と宮澤君のような事が起きない為にも、この碑の一日も早い建立に賛同します。

清水裕二・北海道公立学校職員

現在の情勢は、全く時代背景がそっくりです。早く政権交代の準備と実現をしなければならぬと考えます。打倒安倍内閣！

松永ひさ子・元介護職

権力による酷い人権・人名の侵害をあらわす大きな具体例として宮澤事件を語り継いで行きましよう。

宮田 汎・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟北海道本部長

みなさんの尽力で、ここまで運動をすすめられ、具体的な形で成果をあげられたことに敬意を表します。みなさんのご奮闘は私たちの運動を励ます大きな力になっています。ともに頑張りましょう。

長崎美代子

「心の会の碑」という名称をどなたにもわかりやすいものにしていただきたいと思います。説明文も明解なものをそえてください。

松島和幸・千代田区労協幹事、東京

宮澤弘幸さんを陥れたその若い命を奪った者達と全く同じような勢力がうごめき、その時代を「取り戻そう」としている今、この運動の重要性はますます大きくなっている。

河部寛美・地方公務員

北海道大学が正式に「冤罪」を認めたと伺って嬉しかったです。特定秘密保護法は強行採決され、またまた暗雲が。二度と宮澤さんのような時代の犠牲者をうまないことを祈っています。

山田善二郎・日本国民救済会顧問

北大が宮澤さんの冤罪を認めたこと、喜んでいきます。立派な「碑」が建立されるよう願ってやみません。

持田 勝

日本人の心に正義・真理・希望の灯をかかげ、植えつけてくれた伝統ある大学・北大は、今もその精神は息づいておりまふ。とすれば宮澤弘幸氏の名誉を回復し、重んずるという事は、同時に北大の名誉を重んずる事を内外（国際的）に公表することでありまふ。Wクラーク師も、内村鑑三、新渡戸稲造その他多くの同大学の学士らの心に叶うだけでなく、その精神の礎を再

認識されることとなりまふ。これが「真の和解」ということです。

小林 昇・元総理府労連副委員長

「心の会の碑」建立呼びかけに賛同します。一日も早く建立されることを願います。二度と戦前のようなことが起こらないようにしたいと思います。

秋間達雄・元高校教師

「北大生・宮澤弘幸『スパイ冤罪事件』の真相を広める会」によって執筆、編集された「引き裂かれた青春―戦争と国家秘密」（花伝社発行）が刊行されました。その内容は軍事機密法違反として「真理に生きる学生を逮捕し、でたらめな口実で犯罪者に仕立て上げていく構図です。

高齢者の中には書籍を敬遠される方もいるので、私は右書籍に頼って小冊子で宮澤弘幸事件を取り上げ簡潔に軍機保護法をとおして秘密保護法の一部を明らかにすることにしました。軍機保護法と秘密保護法両者には法的構造に共通したのを見ることのできるからです。

軍機保護法は国民の前には「秘密の範囲」を明確にしながら、実際には抜け道をつくって無制限に範囲を拡大し、特高の弾圧をほしいままにしたのです。

現代の秘密保護法も「特定秘密保護法」とあるが、無制限に拡大される恐れを感じまふ。

安倍政権は、集団的自衛権の行使により、徴兵制による国防軍の創設、核兵器の保有によって軍事国家として完結するという構図を描いているものと考えられます。そのため国民への抑圧、統制を必要とし、その手段として機能するのが、秘密保護法です。

民主主義を圧殺する「戦前回帰」の悪法を絶対許すわけにはゆきません。日本は平和か戦争かの道の岐路に立っているからです。(小冊子「あとがき」より)

浅里慎也・北星学園女子中学高等学校校長

レーン先生のお嬢様たちが本校の卒業生でありました。学園としての答えは出ておりませんが、本校としては微力ではありませんが、運動の主旨に協力させていただきます。

阿部敏夫・札幌北光教会委員、北星学園大学元教授

貴会と札幌北光教会との連帯をさらに強めて行きたい。

石田明義・弁護士

歴史的事実の解明と現代社会への問いかけに尽力され、前進をちかづけていることに敬意を表します。青年の志をくじいた歴史の汚点を明らかにし、その汚点を少しでも輝くものに、飛躍できるという希望がみえるものにして欲しいと思います。

岩間忠廣・北海道歴史教育者協議会会長

1970年から2009年まで、北海道高等学校の社会科の教諭をしておりました。先輩の英語教師・松竹谷智は学生時代、レーン先生のお宅をしばしば訪れて学んだと聞いております。そのほかに北明先生を中心に「動く社会科」を数回、生徒5、6名を引きつれて、北海道高校ゆかりのある地を歩くフィールドワークをやったことがあります。円山のレーン夫妻のお墓に2回は行っていきます。呼びかけ人のお一人の山本玉樹先生には、以前からいろいろな行動・運動にご一緒させていただいています。

昨年12月、安倍内閣は「特定秘密保護法」を成立させ、現在チエック機関のあり方やどのように秘密指定するかなど詰められつつありますが、チエックがうまく機能するとは思えません。

この間、「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件」は、新聞等に問題提起をしてみました。碑の建立に賛成いたします。

金子 勝・立正大学名誉教授

北海道大学が、過去の反省を踏まえて、「平和と真理の大学」として生きようとするならば「無償提供」を進んで受け入れるべきであると考えます。

坂口 勉・元北海道教育大学教授

建碑実現の後の維持——特にその精神・理念の維持・継承まで見通した建立運動を期待、望みます。

新海雅典・カトリック神父

私も以前から「レーン・宮澤事件」に強い関心を抱き、戦時中の軍国主義下における傷ましい弾圧事件として、その真相明と被害者の名誉回復を強く望んで参りました。また戦時中我々札幌教区長として働いていた平和思想家のラウレンチオ戸田帯刀神父が、獄中のレーン夫妻を訪問し、励まし、又残された家族の面倒をみた事も記憶しております。その戸田帯刀神父も札幌時代「造言飛語罪」で逮捕され、三カ月の獄中生活を余儀なくされ、そして横浜に転勤された後の1945年8月18日、すなわち終戦の日の3日後、憲兵によって射殺されるという「平和の殉教者」の道をたどりました。

私たちは「碑」の建立運動をとおして、これらの「歴史の真実」に改めて光を当てる」ことで、今の世が再び戦争への道を歩まぬように、強く監視してゆきたいと思えます。

榎葉悦郎・静岡県平和委員会理事

今また忌まわしい過去の日本への回帰の動きがあるなか、あの時代に「スパイ」の濡れ衣を着せられ、命を奪われた前途有為の若者が居たことを広く永く後世に伝えることは、極めて大切

なことだと思えます。

殿平善彦・一乗寺住職

多くの方々と共に成功させましょう。今、必要な時代への警鐘として。

津田光輝・元大学教授

「心の会の碑」建立の呼びかけ人に元北大総長のお二人が参加されたことは、運動にとつて大きな前進です。宮澤弘幸さんの冤罪をはらし、名誉を回復するためにも北大構内に「碑」を実現したいものです。宮澤弘幸さんの妹さんの秋間美江子さんの悲願だと思います。協力は惜しみません。

橋本 進・ジャーナリスト、横浜事件を語り伝える会会員

自由、人権、民主、平和——豊かな未来を築いていくためにも、たしかに「歴史の認識」が共有されねばなりません。過去、現在の正負の体験が正しく心に刻まれて、考察が深められていくなかで、将来の展望が開けます。「心の会の碑」建立に賛同いたします。

私たちがその再審請求を支援した「横浜事件」は、太平洋戦争下、最大規模の思想・言論弾圧事件でした。国家権力は反戦・非戦の思想（あるいは気分）をもつ者に狙いを定め、拷問を加え、事件を捏造しました。大量検挙のなかで4名の獄死者、1名の保釈直後死者を出しました。宮澤・レーン事件と構造・経過はほとんど同じです。国家犯罪を告発し、人権回復をはかるための再審裁判は、第1次〜第4次、24年の歳月を費やしました。その間の2008年5月、事件発端の舞台となった、富山県泊町旅館「紋左」の敷地内に「泊・横浜事件端緒の地」碑が建立されました。地元の治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟・富山県本部や、横浜事件再審裁判を支援する会会員の呼びかけ

によるものです。呼びかけに応えた人は、地元はもちろん、東京、神奈川県ほか全国にひろがりました。以来、碑は反戦、平和、人権を願う人びとの心のよすがとなり、またそうした運動の呼びかけの礎となっています（碑のほかに、事件と裁判の資料展示コーナーもある）。地元関係者も来客をここへ案内して事件を語ったり、富山で集会をもったグループが見学にきたりします。碑はもちろん事件のすべてを物語るものではありません（碑文の文字数は限られる）。しかし見る人が事件を知り、歴史認識を深めていくよすがとなるものです。「歴史の記憶」共有の契機となるものです。

特定秘密保護法、集団的自衛権……、「戦争する国」への暴走が始まっているいま、「非戦・平和の営み」の顕彰、人権・平和への誓いのシンボルとしての碑建立は、大きな意義を持つものです。

畑田重夫・日本平和委員会代表理事

「碑」建立の企画に積極的な支援・賛同の気持ちを表明します。まだまだ「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件」そのものを知っている人が少ない現状だけに、この企画が持つ意義は非常に大きいと思います。ぜひ全国的な心ある人たちの力でこの企画を実現したいものだと思います。私自身は今年91歳で、戦前戦中の治安維持法や国防保安法が果たした恐るべき役割を身を持って体験しているだけに、「宮澤・レーン事件」によせる関心は人一倍大きいわけです。微力ですが、私に出来る限りのことはさせていただきます。ただくつもりです。

増本一彦・弁護士

2013年、特定秘密保護法の成立が強行されました。この法律はかつての軍機保護法、要塞地帯法など戦時「秘密保護」法

制の一切を包括しており、権力的に国民を抑えつける悪法です。宮澤・レーン事件は、歴史の大切な教訓となった冤罪弾圧事件です。

私は治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の活動をしておりませんが、無辜の人々を罪に陥れたこの事件と時代を後世に遺すためにも、皆さんの運動を支持させていただきます。そして、宮澤さん、レーンさんなどを重い刑に処した当時の腐った司法が再来しないように、努めたいと思います。

松竹谷智・北海道柔道整復専門学校講師

建立についての趣旨に賛同いたしますが、趣意書の文面にある6行目の「……復帰して多くの学生に平和への願いを伝え、……」のくだりは、「……復帰して多くの学生や市民に平和の願い（心）を持つて接し、……」のようにしていただきましたかと思っております。といいますのは、私はレーン先生ご夫妻が昭和26年に札幌に戻って来られてからお亡くなりになるまで、お交わりをいただきましたが、一度も戦争に関わる話を聞いたことはありません。それだけ平和への強いお気持ちを持っておられたと思います。私の気持ちを述べさせていただきました。

第二次世界大戦には多くの北大生（現役・卒業生）が心ならずも戦禍に巻き込まれたことでしょう。宮澤氏の場合、戦後69年の今に至るまで世間の注目を集めているのは、特異なケースであり、極めて不幸な出来事であります。現在も事件の本質は解明されておりません。しかし、宮澤氏の潔白がわかった時点で北大の対応に問題があったと思ひ、残念です。

峯廻攻守・溪仁会札幌円山病院名誉院長

特定秘密保護法案、武器輸出三原則の破棄、そして憲法9条の実質的壊憲につながる集団的自衛権行使などなど、暴走する安

倍政権に「NO」を突きつけるためにも、「心の会の碑」の建立には、多大なる意義があり、それがまた宮澤弘幸君と恩師レーン御夫妻の名誉回復の証しとなると考えます。

森賢一・元日本平和委員会事務局長

「心の会の碑」建立の趣旨に賛同し、宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を名古屋とその周辺で広める活動を微力ながら進めます。まず「引き裂かれた青春」の内容を普及し募金を募ります。文中マライーニ一家が「敵国者として名古屋の『強制収容所』に収容されていた」と記述されていることも私の心にとどめ、力を尽くします。運動の成功を祈念します。山本玉樹先生によるしく！

浅田喜久子・主婦

心より賛同させていただきます。呼びかけ人の中に北大OB総長がお二人おられますが、山口佳三氏は現総長でいらつしやいますよね。宮澤事件の真相を広める会の方々も再三折衝しておられるのに未だ回答がないのも解せません。戦前・戦中・戦後を通して此の国の体質を思わない日はありません。昭和5年生まれの身にとりまして、フェアな心と政治体制を心より希いませす。

石賀田鶴子・JAL不当解雇撤回裁判原告団

東京で秋間美江子さんのお話を伺わせて頂く機会がありました。とても感動しました。言わなければいけないことは言う！行動しなければ！と思った時は行動する！勇気をいただきました。私は室蘭の出身で62歳です。JAL不当解雇撤回裁判の資料にも目を通して頂けましたら嬉しいです。

磯貝佳身・元毎日新聞中部印刷工

賛同します。大学当局が文科省の動向を気にして、すぐにOK

を出さないかも知れませんが、頑張ってください。

市川八郎・元毎日新聞

私事ですが、私の家の近くに捕虜收容所がありました。小学校6年生の頃だったと思いますが、母に「いも」をふかしてくれと頼みました。收容所の「ゴミタメ」に車座で座って、ゴミの中にある「みかんの皮」を食べている捕虜に「ふかしたイモ」を風呂敷ごと投げ込んでいました。また「柿」や山の中にある「グミ」なども投げ込んでいました。

ある日、母が駐在所につれていかれ、3人の刑事に殴られているのを見て、子供用の自転車で鶴沼に駐屯している父に知らせに行きました。父は小学校の先生ですが、予備将校でした。昭和19年に近衛師団に入隊、相模湾米軍上陸阻止部隊長でした。「銃後を守る家族がいるから命をかけて毎日戦うことが出来る」と言つてサイドカーで部隊に帰っていきました。82歳になつて過去を振り返ると、人間、最後に残るのは、その人の人柄です。どのような時代でも良い人柄の人がいるのですが、宮澤さんは不運でした。悲しい限りです。收容所長は横浜裁判で死刑となりました。心の会の碑、建立呼びかけ人の皆様、ありがとうございました。山野井さんよろしく。

今井昴司・元会社員

「心の会の碑」建立、ご苦労さまです。呼びかけ人に北大元総長の名前が二人、記されていることは素晴らしいことです。現総長の山口佳三氏が明言しないのは、文科大臣等関係者に気を使い、躊躇しているだけだと考えます。

たとえ総理大臣が反対しても、現役北大総長として決断する！その決意を強く促し、偉大な功績を残された方々の世界を認識させれば、必ず同調していただけると確信しています。

大田宣也・日本中国友好協会副理事長

「戦争をする国」に急傾斜する世相の中で、これに反対するために、そして後世に語り継ぐために、立派な碑の建立を期待します。

大橋真樹・日本国民救済会札幌西支部事務局長

新渡戸稲造（顕彰）、遠友夜学校（記念館設立）等々、ともに協力し合つて、地球的視野の碑ができたらいいですね。

小山内道子・元北海道教育大非常勤講師Ⅱロシア語

碑の建立は大切な事業ですが、それだけに特化・集中せず、引き続き秘密保護法の恐ろしさ（宮澤青年の人生との関連で）を訴え、廃止運動も併行してやることが大切だと思います。

栗原一郎・毎日新聞記者

国民の広い議論もなく「秘密保護法」が造られ、内閣の考えひとつで「集団的自衛権」行使が可能が許される、恐ろしい社会です。今日、「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件のような出来事を二度と起こさない」この運動は極めて重要です。心より賛同します。宮澤さんらの「思い」・非戦・平和の誓いを「碑」として大学敷地内に建立して頂けるなら、未来に向かって「北大の誇り」となることでしょう。

国府谷よし子・元道立衛生研究所勤務

戦前・戦中のあまりにも理不尽な国民抑圧の中でも持つて行きようのない怒りが湧いてくる問題に、今更ながら怖さを感じます。何のお力にもなれないと思いますが、出来る事があります。たらお伝えください。何卒お元気で御活躍下さいよう心より期待しております。

小森順江・元国立国会図書館職員

私は戦後生まれなので、戦争の実情は知りません。国家権力で

罪のない個人の一生を台無しにし、死に至らしめ、家族には迫害の辛さを味あわせておきながら、戦後何の謝罪も補償もしなかった政治家に怒りを感じます。その事を忘れなないために少しは「碑」の建立が役立てば良いと思います。

柴川悦子・元会社役員

若い方々が、平和で人権が守られる社会が如何に大切であるかを、戦争が直接的にも間接的にも悲惨なことを知るためにも、碑建立に賛同いたします。永年にわたり、苦しみと悲しみに耐えて来られた秋間美江子様がお慰められると信じます。

竹市年伸・元毎日新聞地方版編集長 中部

賛成です。北大が目指してきた国籍や立場の違いを認め合いなから学問を追求してやまない「北大の心」を残すべきだと思うからです。

茶原正士・いなざわ九条の会事務局長、愛知県

暗黒の世を再び許すな！ 反省なくして未来はありません。北大のみなさんとも歩もう。

津田秀一・作家

秘密保護法に反対する（少なくとも懸念する）意思も表現して頂きたいと思います。

寺沢玲子・元日本ヒマラヤ協会常務理事

あの大変な時代に国籍を超えて人としての心を通い合わせた方々が北大に存在した証として、そして冤罪事件を忘れる事のないよう、碑の建立に賛同致します。何と言っても人間はほとぼりが冷めると忘れる動物です。碑の存在は重要です。

中原章雄・元東京簡裁調停委員

直接的には北大の歴史の重要な一部を形成するものを示すことになりませんが、さらに広く深くは、日本・世界に関連する碑で

もあると考えますので、完成後には、例えば、ヘッカー先生のご子孫などにもお知らせしておけば、碑や史料館の文献などを閲覧することも可能となるでしょう。

福山瑛子・元しんぶん赤旗記者

心の会の碑の名称は一考を要すると思います。（記事を書く時、心の会の説明をしなくてはならないので）。宮澤・レーンの名前を入れたものにしてはどうかと思いますが。

真木枝里子

秋間美江子様のお話をお伺いするたびに、スパイのレッテルを貼られた終わりのない苦しみの日々を思うと、この世にまかり通る不条理さに怒りを覚えます。一刻も早く穏やかな日々が訪れることを心から祈念しつつ「心の会の碑」の建立の実現をお祈り申し上げます。

丸山重威・ジャーナリスト、元共同通信・関東学院大教授

ごくろうさまです。大切な仕事だと思えます。大学が大学らしくあるためにがんばりましょう。

皆川真知子・公立学校教員

北海道を代表する大学として、道民からも信頼されています。札幌農学校以来の教育思想を示すためにも当局の尽力をお願いしたいと切に思います。場所はもう決まっているのかとも思いますが、北大でたくさんの方が行くような場所がベスト。目立つ場所に。碑の成り立ちが初めて来られた人にもわかるようにしていただきたい（特に事件のこと、二度と繰り返してはいけないこと）。碑をかこんで年に一回くらい集いを持って欲しい（例えば12月8日、8月15日）。北大キャンパスには観光客や市民がたくさん訪れると聞いています。看板などあったらいいですね。

山勢哲三・元毎日新聞

碑建立の主旨に賛同します。是非とも成功させ、「心の会」の精神を永遠のものにしましょう。

山本有次郎・日本国民救援会東京都本部副会長

北大構内の一隅に「心の会の碑」を建立することが出来たなら、それは二度とこのような悲劇は繰り返さないという、学内外の多くの人々の思いが結実したものであり、同時に北大の歴史にまたひとつ新たな輝きを与えるものとなるでしょう。

能瀬和彦・1970年北大文卒、社会保険労務士

自由と平和を尊ぶ北大の地に宮澤さん、レーン先生の名誉を回復する碑を建立して下さるよう、切に要望します。

工藤俱子・教員

名誉回復を願っています。

三根厚子・函館市

戦争につながる安保法制は絶対通すわけにはいきません。再び宮澤さんのような犠牲を出さないために。

坂下 凱・元公立高校教員、函館市

キナ臭い情勢の中、このような冤罪事件をくり返さないためにも、顕彰碑を北大用地内に作られる事を望みます。

山根仁美・保育園園長、札幌市

北海道の学問の最高峰である北海道大学は歴史の事実を後世に伝える使命があるのではないのでしょうか。

柴野邦子・保育園園長、札幌市

このようなことが二度と起こらないように、ぜひ北大に碑をたて、未来に伝えてください。

長谷川信子・札幌市

頑張ってください。応援します。

相河栄治・札幌市

碑の建立に賛同し、その実現の一助にと署名します。

村上龍子・岩見沢市

先年度、北大で妹さんのお話を聞きました。

遠藤勇蔵・私教組役員、石狩市

安倍首相は「環境の変化」をいうが、彼自身が変化を作り出している。過去の歴史を深くつかむ上でも、この運動の発展が重要と思う。

山根泰子・札幌市

高崎裕子弁護士が選挙の訴えに宮澤さんの事を入れていましたので、印象深く覚えています。再びあのような事件を繰り返してほしくない。

坂本正勝・元地方公務員、札幌市

実現しましょう。

迫 修・函館市

安保法制は批判的メディアを「つぶせ」ものを言えない時代を再び許すのか？ いま問われています。みんなで声を上げることが大切です。

府金孝見・元教員、岩手県

特定秘密保護法、そして戦争法案の審議、衆議院採決と戦争への道を歩んでいるようだ。戦争の悲劇を繰り返さないためにも建立を！

岩本秀司・私立高校非常勤講師、岩手県

戦後70年という節目の年に全国に発信して進められているこの運動は、極めて時宜に合った運動であり、強く賛同します。そして、宮澤・レーン事件のような冤罪を作り出してきた戦前レジームへの回帰を強めている安倍政権に断固たるNO！を突

き付けていきたいと思えます。

渡辺正樹・元教員、奈良市

毎年、卒業記念号の冊子に「レーン記念賞」の受賞者の氏名が載っていたが、今度のパンフレットで初めて宮澤弘幸さんの件、詳しく知りました。

村中千廣・道上川郡鷹栖町

アイヌの人たちへの遺骨の返還もお願いします。

岡部信枝・元中学校教員、釧路市

人類の歴史は人権発達の歴史と信じたい。

佐藤美保子・札幌市

報道を見るにつけ心を痛めておりましたので、賛同させていただきます。

陶山秀昭・1973年北大理卒、元帯広市役所

良識ある北海道大学であれば、現在の憲法を無視して戦争法案を推進しようとする政府に対する歯止めとして「心の会の碑」の建立を許可されると信じます。

北川保雄・元新聞記者

私は既に現在、警察・自衛隊・公安調査庁など国の権力とその機関によって監視され続けています。昨年暮れには特定秘密法が制定され、かつての治安維持法を思い起こす。新聞が検閲の下に発行され読者の知る権利が奪われかねません。「心の会の碑」を闘いの拠りどころとしよう。

阿部紘司・札幌市

基本的人権、民主主義、国民主権、学問の自由を守りましょう。

伊藤正晴・教員、札幌市

ぜひ建立してください。宮澤・レーン事件を知ることができ、

とても勉強になりました。

小沼紘美・札幌市

是非、実現させてください！

佐藤真奈美・保育士、札幌市

平和のために、子どもたちの未来のために、建立していただきたいです。

松原 清・団体役員、札幌市

悲劇は二度と繰り返してはなりません。戦争立法は廃案にすべき。

喜多村喜美江・札幌市

歴史を広く北大のみなさん、関係者のみなさんに知っていただくために、おおいに賛成します。私も初めてこの事件を知りました。レーンさんを尊敬いたします。宮澤さんの名誉の回復と切望いたします。

浦野徳子・札幌市

是非建立を。応援しています！

狩野 廣・元教師、札幌市

旧制中学3年で海軍志願中終戦、戦時中の言論統制の厳しさを体験しております。このようなことがあつてはならないと思っています。

橋本順子・元教員、札幌市

ぜひ建立を！

上田純子・札幌市

「碑」建立についての北大の態度は知りませんでした。ぜひ実現したいですね。

渡辺美恵子・札幌市

心の会の碑、建立できる事願います。

野原安雄・元教師、札幌市

再び暗黒政治に逆戻りさせぬためにも建立を！

藤村俊子・札幌市

さんせいします。

芦田睦子・札幌市

小さくともこの事件の大事さをいつまでも伝えるものであつてほしい。

佐藤泰子・札幌市

北大構内につくること。

縄野裕子・札幌市

平和のシンボルとして、建立を応援しています。

秋間 実・東京都立大名誉教授、神奈川県逗子市

よびかけの趣旨に心から賛同します。北大当局が心を開いて誠実が対応をしてくださることをねがいます。

小沢絃美・札幌市

記憶・記録を後世に残し、伝えるために是非々と存じます。

宮澤弘幸氏の実妹・秋間美江子さんのお元氣なうちに実現しますよう願います。

松尾みつ子・札幌市

ぜひ北大の中に建ててください。

小沼 武・札幌市

大賛成です！

古矢 旬・北大名誉教授、札幌市

森先生よりお知らせさせていただいておりながら、返信を失念しており、失礼いたしました。数日前、北大が「碑」の建立を拒否したことを報道で知り、思い出しました。まさかと思っていた事態ですが、北星学園大学の事件といい、危機的な状況かと存じ、

あわてて返信申し上げるしだいです。遅ればせでもことに申し訳ございませんが、賛同の方々の末に連なることお許しくださいますよう。

笹森行周・11年北大院了、日本山妙法寺僧侶

同じ悲劇を二度と繰り返さないためにも、歴史を直視する姿勢が大学側に求められていると同時に、学生さんたちにも人生を考えるきっかけにしてほしいと考えます。

新国久男・札幌市

今のアベ内閣により、ますます「戦争」に近づいています。このままでは、またいつ「宮澤・レーン」事件のようなことが起こりかねません。それを防ぐためにも「心の会の碑」は必要です。頑張ってください。

江部靖雄・全損保OB、札幌市

建立呼びかけ趣旨に全面的に賛同。北大が謝罪し、碑の建設を是非実現。支援惜しみません。

櫻井佳子・元保育士

このような事件があつたことを忘れないように。また若い人々にもぜひ知っていただきたいので、「碑」の建設に賛同します。

歌代 功・元北海道放送、札幌市

賛成。

柳谷マサ子・札幌市

碑の建立は歴史の真実を埋もれさせないためにもぜひ実現させたいです。

若月久美子・元中学校教員、札幌市

北大が「碑」の建立を拒否したことを知って、本当に残念で情けなく思っていました。

河村公隆・北大特任教授

賛同いたします。

岡本哲軌・勤務医、北広島市

宮澤賞の創設を樂しみにしています。戦争に参加しないためにも「心の会の碑」を建立しましょう。

大我晴敏・1970年北大理卒、元会社役員

歴史的事実、ましてや冤罪事件を形にせず実質的に無かったこととする現北大当局は、自らの大学存在意義を否定しているものです。

歴史を直視し忘れないため「碑」の建立が行われるよう求めます。

赤坂京子・札幌女性問題研究会、札幌市

戦争は、宮澤さんのような前途有為な素晴らしい青年を逮捕・拷問・拘留して殺すという事を伝えて欲しい。

跡部紘三・大阪府豊中市

支持します。

結城千草・1950年北大教養部入学、医師

賛成します。

三宅 勲・札幌市、元コープさっぽろ職員

是非建立させたい。

国吉昌晴・1966年北大教卒、中小企業団体役員

このようないまわしい、悲惨な事件を二度と引き起こしてはなりません。そのためには、北大関係者の皆さん、さらには、広く社会全体に、歴史の真実として語り継ぎ、問題の本質を認識する努力が必要です。その象徴となる「碑」の建立が急速に進むことを願っております。

横倉友子・元法律事務所事務員、札幌市

「宮澤・レーン事件」は過去の問題ではなく、現代の問題でも

あると(安倍政権の暴走を見て)確信するこのごろです。

自由な精神、真実を求める学問への情熱を育むためにも「心の会の碑」の建立を強く望みます。

柳谷睦夫・札幌市

歴史を逆行させないためにも、ぜひ「碑」を建立して下さい。

西尾達雄・特任教授

歴史的事実を次の世代に正しく伝える必要があります。「碑」建立はそれを象徴するものです。ぜひ建立されることを期待します。

守屋 淳・北大大学院教育研究院教授

なぜ北大当局が、土地提供を拒むのか、理解できません。皆様の活動は、特定秘密保護法があり、安保法制が問題になっている今、きわめて重要な意義ある活動だと思えます。

吉田憲幸・元地方公務員、札幌市

学問・大学の自治を守ることが当然であり、反省の碑は当然のことと考えます。

原田敏幸・元高校教員、札幌市

碑設立の趣旨に大いに賛成です。北大は北大の教育の基本の部分に「心の会」に流れる高い精神が脈々と受け継がれる事をむしろ誇りに思うべきだと思う。

事件について本を読んだ後に感じた事は次の2点である。①事件が当時の政府が推し進めていた暗闇の恐怖政治の下に起こった事とは言え、北大が彼を守り得なかった不甲斐なさ。学校は学生を一言の弁護もせず官憲に引き渡した事を恥ずべきだと感じた。②戦後すぐに米軍占領下に直に行動を起こし、戦時下に行われた自学の学生に対する不正な弾圧の糾明に学校当局は当たると共に、即時彼の復学への手続きをすべきであった。遺族

に名誉回復を求められても不承不承の感あり。

山下信行・札幌市

建立賛成。

平野時英・元世田谷区立小学校教員

賛成です。北大の姿勢は今だに治安維持法体制を支持している
とんでもないものですね。がんばりましょう。

勝俣明夫・埼玉県川越市

秘密保護法は廃棄すべきだと思います。頑張りましょう！！

佐藤のり・埼玉県川越市

宮澤弘幸氏の銅像を作っていたべきだと思います。

菊池雅子・保育士、埼玉県ふじみ野市

心から応援いたします。なにかありましたら、微力ですが、お
手伝います。今の政治は恐いです。いつの間にか特定秘密保護
法ができて、国民は何も知らされていません。

折井 暁・立川革新懇事務局長

安倍政権の「侵略」を認めない歴史認識が問題になっています。
それは国内の弾圧行為についても同質と捉えています。

藤元理津子・東京都葛飾区

戦争のむごさは人間を人間として見なくしてしまう。宮澤弘幸
さんの冤罪をなんとしても晴らさなければいけません。そして
子や孫に伝えます。

古川太亮・東京都羽村市

今後の平和の為に必要と思います。

西沢 堅・東京都練馬区

このような事件を若い人達に残すためにも碑を作ることに賛同
します。

笠原純子・東京大学図書館職員

碑としてこの事件を後世に伝えることは良い方法と思います。
「わだつみの碑」を構内に建てさせない東大の態度も共通して
おり、難しいかもしれませんが。

大橋 晃・1966年北大医卒、医師

秘密保護法や集団的自衛権行使容認など、再びきな臭さがたち
こめる今、この北海道の地で起こった宮澤・レーン事件を後世
に伝えるための碑の建立は大変意義のあることと考えます。

北大出身者としても、1980年代まで事件について殆ど知ら
なかったことを恥ずかしく思います。可能な限り若い人達に伝
えていきたいと思えます。

加藤幾芳・北大名誉教授

是非建立して欲しい。

長倉靖剛・北大職員

北大の悲劇を繰り返さないためにも、是非「碑」を建てる方が
よいと思えます。

佐々木直樹・北大名誉教授

今だからこそ是非！北大に！

松林 洋・教員

建立は北大が歴史を総括するため必要だと思います。

原田 守・1969北大理卒、元高校教員

心より賛成します。今、日本はどこに向かうのか大変心配です。
宮澤・レーン事件は古くて新しい事件です。碑の建立により平
和な日本が実現することを願っています。

増子捷二・1965年北大理卒

建立のよびかけに強く賛同します。呼びかけ人に元総長が名を
連ねている事も敬意を表します。北大の態度は許せません。更

に多くの賛同者を増やすと同時に、期成会を発足して下さい。
瀬尾英幸・護憲ネットワーク北海道共同代表、石狩市
是非、北大構内に建てるべし！

土岐由起子・福祉保育労組道地本元書記長、札幌市

今の時期だからこそ意義があると思います。

渡辺陽子・韓国語講師、札幌市

胸が痛みます。そして今現在これから、そのような理不尽な世の中になっていく大きな懸念があります。過去の貴重な教訓の証として建立に賛同します。

浦部浩行・元教員、札幌市

権力の弾圧を記憶するために大切な活動だと思います。

鈴木澄江・江別市

北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広めていただくことは、現在と未来のすべての人々に「平和と人権」は、自らの考えや行動がなくては得られないことを知っていたいただくために必要であり、特に宮澤さんが選び親しんだ現地である北海道大学の校内から発信することに意義を感じます。

貫井 進・マスコミ労働者、札幌市

過ちを繰り返さぬための証しになると思います。

中村由紀男・元電器会社エンジニア、長沼町

歴史を刻み、より多くの人に知らせるためにも、ぜひ実現してください。

川上和幸・江別市

歴史を風化させないために必要だ。

中垣克久・彫刻家、東京都新宿区

ごく当たり前の観光的な碑にならないようにお願いします。素敵な彫刻を！ 石の碑でもいいのですが、2〜300年しか持

ちません。ブロンズは約1000年は原型を保ちます。耐久性のある作品を作ることのできる本場の彫刻家を選出することに行き着きます。慎重な審査をよろしくお願いします。

本田明子・札幌市

レーン先生夫妻は1951年に北大に復帰し、一応名誉は回復されたと思います。一方の宮澤弘幸さんは、北大当局が何の弁明もせず、戦後も無視したまま忘れ去られようとしています。遅きに失しているが、北大は今こそ宮澤さんの名誉を回復するために「碑」を建て、後世に語り継いでいくべきだと思います。

阿部奈々・当別町

私はこの出来事を忘れたくないのです。私たちの未来の子供たち、方々にも伝えていきたいのです。もう二度と繰り返させないためにも、碑を建ててもよいのではないのでしょうか。

斉藤 哲・北海道被爆者協会、札幌市

国家による人権弾圧で、20代の大切な時期を奪われた、元同じ大学の学生のための記念碑を建てることに何の問題があるというのでしょうか。

平真知子・北海道被爆者協会事務員、札幌市

北大で起きた事、北大生の人達に知らされる為には、口コミ、文章より「碑」の方があると、目についていいと思います。

千葉 喬・団体役員、札幌市

がんばってください。

日下康夫・元教員、札幌市

この時代だからこそ、率先して学問の府がしっかりとした態度を表明しなければならぬ。

井上浩二・札幌市

形として残すことは、きわめて大事なことだと思います。

小久保和孝・一般社団法人札幌農業同窓会代議員

北大は公式に第二次大戦による犠牲学生（戦死、動員等による方を含む）を、収録・公表していない。このことも一本の柱として運動に含める必要がある。戦争責任の大学としてのけじめに「心の会の碑」は、大衆的運動展開なくして国有地の利用は勝ち取れない！

この中で碑名は大衆的に決定してゆくべきである。地方議会決議、国会議員動員まで進み、国有地利用が実現する。勿論その前後に各政党決議決定による賛同が必要である。

佐々木忠・1973年北大（院）農卒

ぜひとも碑を実現させたいのです。過去の誤りを反省し、未来を展望すること。これを忘れると、人間は人としてまともな生活はできません。

竹田定好・元北大課長補佐、札幌市

冤罪事件を許さない北大としての決意を後世に伝える証とすべきと思います。宮澤さんは優秀な北大生であり、一人の普通の軍国青年であったとしか考えられません。

武田 泉・元北大環境科研、北教大札幌校

北大の宮澤賞創設の意図が異なった所であり、反省や謝罪が不十分なことがよくわかりました。「碑」の建立まで何度でも要請していくことが必要だと思います。

谷井利明・北大理卒、札幌市

学問の自由、大学の自治、基本的人権、平和・民主主義を守り、発展させるため、誓いのシンボル建立に向けて取り組みをすすめます。

中川 彰・1979年北大文卒、高校教員

北大在学中、レーン奨学金をいただきました。そのころは、宮

澤・レーン事件の詳細も知らず、深い意味も理解しておりませんでした。本年5月、北大にいらした秋間美江子さんの感動的なお話を聞き、何としても北大に碑を建立したいと考えました。よろしくお願ひします。

間宮正幸・北大教員

歴史の記憶を形にとどめるものとして。

切明澄枝・札幌市

北海道の最高学府として、自由の精神を高らかに誇るためにも、是非碑建立にご同意していただきたい。

工藤一成・「札幌郷土を掘る会」事務局長

一般市民には、未だ未だ周知されていないと思います。今の時代とよく似た状況だという事で意味があると思います。

返町賢治・札幌市中央区山鼻地区民生委員

宮澤・レーン事件をいつまでも語り継ぐ為に、建立することに賛同いたします。

高橋春枝・札幌市

1951年生です。今日のしゅうかいはとても学びの多いものでした。有難うございました。

大東亜戦争で叔父が戦死、父は厚木で終戦を迎えました。戦死した東太平洋では英語を話せた人が日本軍に殺された事実もあったそうです。戦後70年になろうとして、レーン・宮澤事件や戦争の全体像を知りたいと思います。学校教育では学んだ記憶がありません。

中島重夫・札幌市

「平和と自由」「学問の自由」は民主主義の始めである！ 北大としても、学問校として全一致して取り組むべきことと考える。

中村 充・地方公務員、札幌市

建立することによって、何をどのようにしたいのか明確にし、北大との交渉をがんばってください。また公的な土地を使用する場合、維持管理できるかも重要と考えます。

水越貴俊・元JR北海道、札幌市

北大の地に平和を願う碑を是非建立して欲しいと思います。秋間美江子さんの存命中に建立されることを期待します。

勝又敏夫・毎日新聞OB、神奈川県伊勢原市

宮澤さんの非業の死、秋間さんたち家族の無念さを思うと胸が痛みます。今また日本を危険な道へとつき進む動きを許さず、この碑建立と宮澤さん冤罪事件の真相を多くの人に広げましょう。

服部康夫・京都市

「平和でこそ登山ができる」精神でがんばりましょう。

植村 滋・北大准教授

戦前以後戻りするかのような機密保護法の廃止と、憲法に違反する安全保障関連法案の廃棄を指すとともに、平和な世の中と人権を何よりも大切にする北大の良心を占めるシンボルとして、記念碑が建立されることを願っています。

武藤 順・1955年北大法卒

教養部の時にレーン先生の講義に参加し、またレーン先生宅にも良く訪問しました。

野崎健美・1958年北大農卒

デモも集会も禁止したり、処罰することも可能になった特定秘密保護法を廃止するためにも、建立に賛成です。

大山綱夫・1962年北大文卒

賛同します。

佐々木梓・北海道河東郡

安保関連法案が憲法をないがしろにしたまま、そして国会としてあるべき議論が不条理なまま一人歩きしていることに抗議いたします。おとなが、こどもが、学生が、学者が、労働者が、文化人が、二度と戦争をしない決意を心にかたく結び、平和を求めている今だからこそ、心の会の碑建立を強く望みます。

柳川慶子・女優、東京都世田谷区

毎日新聞で北大生「スパイ冤罪事件」を読み、はじめて知りました。

高木博志・京大教員、元北大教員、京都市

宮澤青年と北大で交友のあった人類学者フオスコ・マライーニも、創設時の京大イタリア語学文学講座で教えたが、収容所に入れられ抵抗します。戦時下の人々の営為に学びたいです。

佐藤俊明・1970年北大文卒、函館市

戦後70年の節目です。北大はきちんと謝罪すべきです。

岸 甫一・1972年北大文卒、函館市

再び戦争による悲惨な歴史を繰り返さないために、北大はもろろんのこと、広く社会的に「心の会の碑」建立は意義のあることです。最近の政治には危機感を感じます。

岸 伸子・上川郡美瑛町

国籍、立場の違いという垣根をこえた共同が大切であると考えてきました。「心の会の碑」に私の願いを託します。

橋本和幸・1975年北大薬卒、函館市

戦争は、人生をだいなしにしてしまいます。個人の人生を尊重しません。二度とこういうことが起きないよう歴史に接し、心

に誓うことは大切なことです。

橋本喜久子・1973年北大薬卒、函館市

つましくも、平和に暮らす国民の生活を一変させるのが戦争です。悲劇を繰り返さないために“心の拠りどころ”を建立しましょう。

阿部和保・函館市

建立運動に協力します。

俵 浩治・1956年北大文卒、函館市

かつての過ちを二度と繰り返さないために。その記憶を忘れず、ご本人の名誉を回復するために。賛同いたします。

吉野敏明・函館市

わずかですが、建立運動にも協力いたします。

伊藤文彦・1959年北大理卒

再びこのような事件を繰り返さないために、この記念碑の建立の早期実現に心から賛同します。

紺谷克孝・1969年北大法卒

ぜひ実現し後世にその事実を継承させていただきたい。

中野守成・元高校教員、函館市

歴史をきちんと見ないでフタをすると、学問の展望が見えなくなると思います。

寺田 保・元教員、函館市

戦中、憲兵による庄迫を身に沁みて感じています。

上原道代・元教員、北斗市

宮澤さんのような冤罪事件を二度とおこさせないように、多くの人に運動を広げて、知らせてほしい。

佐久間睦夫・函館市

ぜひとも名誉回復を期待します。

鈴木則夫・函館市

宮澤氏の名誉回復を祈念します。

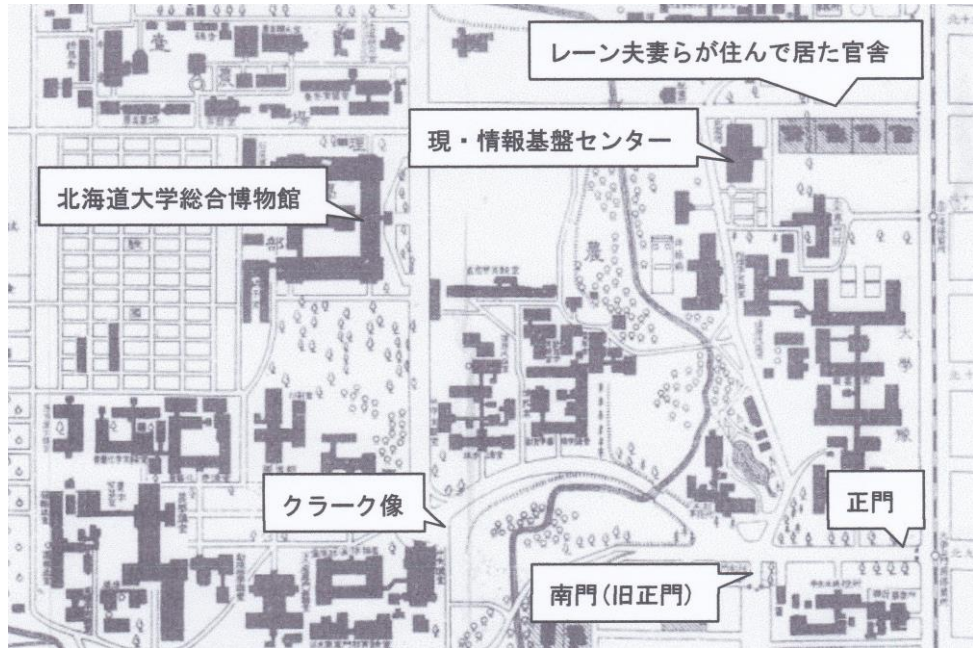
堺 章芳・札幌市

建立して多くの人がこのことを知る機会にしてほしい。

土屋博嗣・札幌市

建立して欲しいものです。

*以上、会報別冊『真相を究め広める取組み 軌跡と展望』からそのまま再録した。建碑に向けた取組みは一服したままだが、寄せられた意見の一つひとつは、建碑活動だけに止まらない運動全体にわたる思いが込められており、本会活動の到達点を裏書きするものとなっている。次なる展開への有用不可欠な息吹として全文をそのまま再録した。



1939（昭和14）年当時の北海道帝国大学平面図（一部）。

右上のレーン夫妻らが住んでいた官舎跡は、いま雑木林になっており、顕彰碑は、この中に建てるのがベストと北大当局に敷地提供を申し入れた際に提案している。官舎跡から市電（戦後廃止）の通りを越えて2、3分のところに「心の会」発祥の地もある。